後天物語後篇

特へ遠13
1235
13

へ13
1295
13
特

京都帝國大學圖書

但州
中屋茂左衛門
湯嶋

寛永四年板倉筑前守記

目録

一 雲州出雲郡杵築大社

附り 一金毘羅神之事

一 備後国鞆之津

附り 三蔵坊之事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行くゝふ海を渡り沈み
ゝ
ゝ
ゝ

の[illegible]と[illegible]仕る[illegible]物の[illegible]
[illegible]と[illegible]雲[illegible]仕物[illegible]
[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八人すの出ちうこんの紙集ちう也
安の部ふちゆうの樂屋（かんの）
能中の歌（うた）まで謡（うたい）と列（れつ）
坐の法能二（ほうのうに）曙（あけぼの）続（つゞき）入（いり）
山の法（やまのほう）夫（ふ）尾の音曙（おののあけぼの）
ふ物（ものゝ）と海部（あまべ）と初（はつ）
新田の京殿八（にったのきやうどのはち）
幡（はた）の平（へい）に也（なり）ト今（いま）は作（つくり）ふ
来（きた）の大（だい）と常（つね）盛（もり）卒（そつ）人

給（たまふ）歌（うた）人（びと）列（れつ）
出（しつ）部（ぶ）ふ軍（いくさ）の物（もの）
ふ海部（あまべ）と物（もの）
ふ能美（のうび）
ふ貴（きの）
ふ
利三（りさん）の美（び）ふ法（ほう）也（なり）
入（いり）ふ一部（いちぶ）と京（きやう）
利（りさん）光（こう）の能（のう）ふ
ありて法（ほう）は
ふ
ふ
ふ
ふ
ふ

して法師の川辺の源八郎
と云人の娘を妻として
出来る事を
わすれたりしそこなふきらひて
ことを出家の源八郎といふを
しかうして月日
まれ国とさうしけ上洛して
のち源八郎そこなふ
彼を無理とのつて勅命ふ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

行くらを四郎兵衛尉のぶ
ふ兵衛尉とくにたまはる
たてまつりしとき
入うやまひしとき

海天四位殿の母君